

令和4年
(2022年)
4月

ゆりー



米原区の人口及び世帯数

令和4年3月末現在
戸数 1,091 世帯
人口 2,673 人
男 1,326 人 女 1,347 人

区の行事予定

4月

- 5日(火) ミニ・デイサービス
- 8日(金) 審議委員会(予定)
- 8日(金) 選挙管理委員会(予定)
- 11日(月) 千尋会役員会

5月

- 10日(火) ミニ・デイサービス(予定)
- 10日(火) 千尋会定例会(予定)
- 13日(金) 審議委員会(予定)
- 29日(日) 米原区定期総会(予定)

* (予定)とある行事は、コロナの状況を見て判断します。



おめでとうございます! 名嘉眞政廣様

令和3年秋の叙勲受章 昭和48年(1973年)12月に米原区自治会の会長に就任以来、24年9カ月の長きにわたって、区民の親睦と健康維持に多大な貢献をすると共に、公民館建設や米原土地改良事業にも尽力。その後、具志川市及びうるま市の市議会議員として8年間、地域振興の向上に大きく貢献されたことが認められ、この度の秋の叙勲受章となりました。誠におめでとうございます。

今月の徴収金

区費	1,000円
防犯灯負担金	150円
合計	1,150円

令和4年度米原区定期総会

令和4年5月29日(日)午後2時

コロナの感染状況に好転の兆しが見えてきたため、3年ぶりの開催を予定しています。しかし、再び増加傾向に転じた場合は、昨年同様、書面評決になる場合がありますので、予めご了承願います。

ありがとうございます

- 3班の福地心一様(浄福寺)より飲み物等の寄贈がございました。



ようこそ☆米原へ

5班-1 座間味 良孝 ご家族様
(ざまみ食堂たろう)



どーちゅいむにー

春の甲子園に県代表なし
南国の春眠は覚めないんです
— 沖縄県高校球児
孟浩然 殿

暗雲の裏地
シルバライニングが見たい
— ウクライナ国民
裏地—見る—プーチン 殿

窮鼠(旧ソ)猫を噛む
現口は世界中を噛む勢いだ
— 半可通
ロシア大統領 殿

三月の審議委員会(三月十一日(金)開催)の審議事項

一、令和3年度決算(概算)報告について

毎年、区から千尋会へ補助金が拠出されているが、今年度はコロナの影響で活動ができなかった。そのような場合の補助金の必要性が問われたが、これに対し、千尋会は、今年度の会費は徴収せず、前年度の繰越金と区からの補助金で役員への手当や市老連に収める会費を捻出しているため、補助金は必要であるとして了承された。

二、予算案(概算)について

これまで区の予算は、前年度実績をベースに100%で組んで来たが、コロナ禍の影響等で歳入減が見込まれるため、次年度以降は95%で組むこととする。
敬老会は基本、会費でまかない、不足分を行事費より繰り入れて実施しているが、コロナ終息で3年ぶりの開催が可能となれば、例年より内容を充実させたい。そのため、行事費の予算を5万円アップの30万円とする。
例年、社会福祉協力は一般会計への雑収入としていたが、社会福祉協議会から、令和4年度より領収証の提出や年度内での処理を指示されているため、一般会計には組み入れず、別会計とする。そのため雑収入の予算額が4万円減となる。
千尋会への補助金は区から6万円、福祉協力は2万円の計8万円とする。

あなたも狙われています。

自分は大丈夫だと思いませんか？

非常に身近な犯罪です。

例：バイクで後ろから、強奪される



例：車へ財布やカバンを置いて離れる



例：スーパーのカートへ財布やカバンを置く



例：トイレで財布やカバンを置き、目を離す



うるま署管内では、野外での窃盗事件が多くなっています。

被害に遭わないように……

- ☆ しっかりと鍵をかける
- ☆ 貴重品は身体から離さない
- ☆ 知り合いや近所の方にも知らせる

うるま警察署

うるま市地域包括支援センターからのお知らせ

うるま市地域包括支援センターとは、うるま市役所から委託を受けて高齢者の方々の困りごとや心配事などの相談を受け付けているところです。これまで米原を担当していた地域包括支援センター具志川ひがしから具志川にしに変更になります。

より身近な場所で相談や支援ができるように、令和4年4月1日より「地域包括支援センター具志川にし」を新たに設置します。

【今後予定】

○令和4年3月31日まで

現在担当する「地域包括支援センター具志川ひがし」にて、相談の受付等を行います。

○令和4年4月1日より

新規相談については「地域包括支援センター具志川にし」での受付を開始します。

場所：うるま市喜仲1丁目3番18号1階

電話：決定次第自治会へお知らせ予定

(お問い合わせ)うるま市役所介護長寿課
電話：098-973-5112

どんぐり公園の掃除、ていがねーさびら！

どんぐりフレンドパークの里親になって1年と9ヶ月が経ちました。どんぐり隊のメンバーや利用者の協力で、公園内の芝地やトイレがいつも綺麗に保たれているとなかなかの評判です。これというのも、毎朝ウォーキングしながら公園内に落ちているゴミを拾って頂いている新赤道の吉野様夫婦やトイレの手洗い用の石けんを提供して頂いている池原様、前原高校バレー部の1年生お二人、赤道小の子供達、その他の利用者の積極的な協力で綺麗な芝地と清潔なトイレがキープされています。心から感謝致します。どうぞ、今後とも皆さまの協力で、「どんぐり」を可愛がって下さいますようよろしくお願い致します。

～へー、そうだったのかー！（パート46）～
—平 穏 と 混 沌—

水が温み始め、毎朝の歯磨きや洗面が楽になる4月、新緑の季節を迎えた山々の木々、特にヤンバルではあちらこちらで山が笑いかけている。

4月と云えば進学・就職で活気に満ち、様々なものが新しくなる時季でもある。特に学校周辺では児童・生徒達の真新しさが目に付き、微笑ましく感じるものだ。大きなランドセルを背負った新一年生。後ろから見ると、足の生えたランドセルがちょこまかと動き回っているようで実に滑稽だ。走り回るカラフルな背中に目をやりながら、すすくと育てて欲しいと願う。



また、3月まで最上級生だった男の子・女の子も、中学校の新一年生になる。少しだぶついた制服に身を包み、不安と期待が入り交じった様子には瑞々しさが感じられる。就職もまた然りである。新調したスーツを着た新入社員は、古木に囲まれた新芽といった初々しさがある。

そのような心穏やかな状況がある一方で、遠く東ヨーロッパでは、非人道的な紛

争が勃発。多くの無辜（むこ）の民が、無差別に飛び交う砲弾から生き延びようと国外へ避難する姿や、容赦なく破壊される建造物などの映像が連日連夜報道されている。

この理不尽な地獄絵は、超大国のたった一人のリーダーによって描かれている。プーチン大統領は22年前、当事の具志川市総合体育館で

赤道の柔道少年、志喜屋周君と「組み手」を行い、一本背負いで畳に投げられた。その時の柔和な顔と、連日テレビで見る現在の同氏の冷酷な形相からはとても同一人物とは思えない。側近によるリーダーへの諫言（かんげん）も許されない状況はどのようにして作り出されるのだろうか。様々な政治的事情はあったにしても、今、彼の地で起こっていることは常軌を逸している。

「人の欲にはきりが無い」とよく云われる。Aを望んでそれが手に入ると、Bを欲しがる。それも手中に収めると更にC、Dと際限なく欲望が増大し、満足する事からかけ離れて行く。「望蜀の嘆（ぼうしょくのたん）」だ。名声、



財力、権力を手にしても「足るを知る」ということがなければ、この様なことになるのだろう。

ここまで来て、今回の内容は重過ぎてこのコーナーのいつものキャラではないことに気づいた。

悲惨な紛争の真逆、「平和」に方向転換しよう。

平和とは、戦争のない状態だと、大抵の人は思う。それはそれで正しいと思う。しかし、「平和とは、二つの戦争の間に介在するだまし合いの時期である」と云う偉人がいる。直ぐには受け入れられないが、言い得て妙だとは思ふ。しかし、単細胞の私は、もっと直接的なものを選びたい。「最悪の平和も、最善の戦争に勝る」、「平和は人類最高の理想なり」、「将来に期待する勝利よりも、確実な平和の方がいい」。

半畳を入れる訳ではないが、周君に投げられ、畳に横たわった時に考えて欲しかった。人生、所詮「起きて半畳、寝て一畳」。柔道にも人道にもフェアプレイが最善と思うのだが、..、黒帯殿。
—へー、そうだったんだ！—